

■原稿：

原稿は、「作品論文」と「作品ムービー」で構成する（作品論文のみでも可）。和文もしくは英文による学会 web サイトの「原稿フォーマット」に準じたものとする。採録が決定した後に「作品論文」「作品ムービー」はその内容を訂正することはできない。

■原稿の長さ：

「作品論文」は、タイトル、著者名、所属、要旨、図、表、注などを含め、頁数は、6 頁以上 12 頁迄とする。6 頁以降は、8 頁、10 頁、12 頁と 2 頁毎にページを追加できる。奇数ページは認めない。

作品ムービーの尺は 3 分以内とする。「作品ムービー」は、作品論文と同一のタイトル、著者名、所属を示すタイトル頁を含めその尺は 3 分以内とする。

なお、ムービーが資料映像ではなく、作品そのものである場合は、その旨を投稿票フォームに明記し、フルムービーの Youtube リンクを提出すること。

■表題：

表題（タイトル）は和文ならびに英文とする。特に、主題目は簡潔に一見して作品の内容がよくわかるように工夫して記す。また、「・・・に関する研究（Ⅲ）」などの研究の連続性を示すものは副題目とする。英文表題においても、「Study on・・・」などとすることは避け具体的に表現する。作品名などの固有名詞を表題に加える場合は、固有名詞を先頭に置きその後ろに「:」をつける。固有名詞は和文、英文（アルファベット）のどちらでもよい。

■著者名・所属：

著者名は、作品のデザインプロセスに直接的に参加した者を記載する。共著者は非会員でも可とするが、会員／非会員を明示する。「原稿フォーマット」に従い、会員は「■」、非会員は「□」の記号で示す。

尚、謝辞の中で挙げるのが適当と思われる者を共著者とすることは避ける。また、社名や組織名のみで個人名のないものは受け付けない。

■作品論文の表題・本文等の割付：

- 1) 学会 web サイトの「論文・作品集／作品投稿案内」にある「原稿フォーマット」をダウンロードして利用し〔表題、著者名、所属、和文 要旨 / 英文 Summary〕の割付を行う。
- 2) 要旨は、作品を発表する上での主張が的確に理解できるよう、平易な文で簡潔に記述する。

英文 Summary はネイティブチェック等の校閲を経たものとする。

- 3) 原稿は原則として区分を設けて記述する。例えば、[はじめに、作品の内容とその価値、デザインのプロセスとその価値、主張と考察、おわりに、謝辞、注] など。
- 4) 原稿には、「大見出し・章」、「中見出し・節」、「小見出し・項」などを設け、それらを明瞭に区分する。章が変わる時には、1 行あけて、新しい章に入る。尚、節、項が変わっても、1 行あけない。章は、1、2、3....、節は 1-1、1-2、1-3、の記号（全角）を用い、本文は改行する。項は、(1)、(2)、(3)、の記号（全角）を用い、改行せずに、1 字あけて本文を続ける。さらに細分を要するときは著者の分類に委ねる。
- 5) 一般に用いられる外国語の術語はカタカナ表記とする（例えば、industrial design → インダストリアルデザイン）。ただし、カタカナ表記することによって字義が不明確になるおそれのあるものはこの限りではない。尚、欧字のまま記す必要がある場合には、例えば、Morris, idea のように半角文字とする。
- 6) 数字は原則として算用数字を用いる。例えば表 1、図 2、30cm、7g、1kg、1,258、5 時間、80 円のように記す。また、数字は、1 桁の場合には全角文字、2 桁以上の場合には半角文字を用いる。年月日は、原則として算用数字を用いる。また、年は西暦による表記を原則とし、元号を併記する場合には、例えば 2017（平成 29）年のように記す。
- 7) 句読点は「。」「、」、他に、中点・ナカグロ「・」、コロン「:」を用い、それぞれ全角にする。英文表記では、ピリオド「.」、コンマ「,」を用い、それぞれ半角にする。また、/ 「」『』（）{}〈〉《》[]【】なども全角にする。

■作品論文の図や表の割付：

- 1) 提示する作品の主張を代表する写真や図は、原稿 1 枚目の上段、[タイトル、著者名、所属]の下に十分な大きさと割り付ける。
- 2) 図や表には、図 1、図 2—1、表 1、表 2—2 のように通し番号（全角）をつけキャプションを付記する。英文の場合には、Fig.1、Fig.2-1、Table 1、Table 2-2 のように、通し番号（半角）をつける。尚、図表のキャプションは、図の場合には図の下に、表の場合には表の上に記す。

- 3) 特に必要でない限り、同一データを図と表とで重複させない。
- 4) 写真や図の画像解像度は 300dpi 程度にすること。

■作品論文の形式：

作品論文（投稿版）は、pdf ファイル形式で提出する。
作品論文（掲載版）は所定のファイル形式（Word あるいは InDesign）と図や表は jpg など提出する。

■作品ムービーの形式：

- 1) 作品ムービーの画面サイズは 720pHD サイズ（1280×720 ピクセル）とし、その尺は 3 分以内とする。
- 2) 作品ムービーのタイトルを下図の通りムービー冒頭 5 秒間に必ず入れる。作品論文と同一の「表題、著者名、所属（和文、英文）をムービーのタイトルとする（画面上部）。学会が行うオーサリングとして、冒頭画面にデザイン学会作品集の発行情報（奥付け）を白抜き文字で提示する（画面下部）ので、それが見えるように画面の色を考慮する（図1）。
- 3) 作品ムービーは査読用として YouTube 非公開のリンクを提出する。（3 分以内、720p 以上、H.264 形式のムービーファイル）なお、ムービーが資料映像ではなく、作品そのものである場合は、その旨を投稿票フォームに明記し、フルムービーの Youtube リンクを提出すること。

タイトル（作品論文原稿と同じ）
サブタイトル
所属
第一著者、第二著者（作品論文原稿と同じに全ての著者名を記載）
英文タイトル
英文サブタイトル
英文所属
英文全著者名

デザイン学研究 作品集●号 作品ムービー 日本デザイン学会誌
Annual Review of Japan Society of the Science Design Vol.●, No.●

図1 作品ムービー冒頭画面サンプル

■投稿方法と入稿方法：

学会 WEB に掲載された「作品集投稿手順」に記載された内容をよく読んで各手続きをおこなうこと。

■注および参考文献：

1) 注および参考文献は、通し番号をつけ、1)、2) のリストで表記する。また、本文中においては当該事項の後に、[注 1]、[注 5～7] のように示す。文章の末尾に記す場合は句点の前に記す。

2) 注および参考文献は、原則として次のように記す。
雑誌の場合は、著者：表題、雑誌名、巻、号、頁、年の順に記す。各文献には本文の注記順で番号を付して

- （文頭は全角数字と肩括弧）列記すること。例えば、
- 1) 山田太郎：シンボル・デザインの日本の特性、デザイン学研究、Vol.45, No.3, pp.57-60, 1981
 - 2) Bohannon, P. : New Project for Industrial Design, Current Design, Vol.5, No.3, 1966

著書の場合は、著者：書名、発行所、頁、発行年の順にする。例えば、

- 1) 日本富士雄：図説デザインの基礎、日本書房、pp.55-2, 1971
- 2) Leach, E. : Forms and Function, National Press, p.7, 1976

翻訳本の場合には、著者、翻訳者：書名、発行所、頁、発行年の順に記す。例えば、

- 1) ベルグ, A.、田中一郎訳：サインとシンボル、世界デザイン出版、p.23, 1957

■作品論文の原稿フォーマット：

デザイン学会 web サイトの作品投稿案内（以下の URL）から作品集の「原稿フォーマット」をダウンロードし使用すること。尚、J-stage 掲載のための編集入稿作業は学会より委託する業者が行う。

<http://jssd.jp/papers-and-works/post-works>

■連絡先：

作品審査委員会事務局

住所：

〒005-0864

北海道札幌市芸術の森 1 丁目

札幌市立大学

横溝 賢

E-mail : jssd.sakuhinshu2024@gmail.com

※「jssd.sakuhinshu2024」は募集年度に抛らず恒常的に使用するアカウントとなります。
メール連絡の際は上記のアドレスをご使用ください。

■本執筆要領の施行・改正：

本執筆要領は平成 24 年 4 月 1 日より施行する。
尚、本要領の改正は理事会の議を経て作品審査委員会が行う。（平成 24 年 4 月 1 日、平成 28 年 7 月 2 日、平成 29 年 7 月 5 日、平成 30 年 7 月 7 日、令和 7 年 1 月 22 日、令和 7 年 6 月 27 日一部改正）